

給食のストロー消えた！ラツパ飲み「はしたない」「むせて危険」

給食の牛乳からストローが消えた――。マクドナルドやスターバックスなどで始まったプラスチック製ストローを廃止する脱プラスチックの動きが、学校給食にも広がっています。

慣れないストローレス牛乳パックに戸惑う声もあり、読売新聞の掲示板サイト「発言小町」には、給食で子どもたちが牛乳パックに直接口をつけて飲むようになり、「そんなことしたことのない娘は上手に飲めず、けっこうこぼしてしまった」と明かす投稿が寄せられました。

「慣れた？」って聞いたら「たまにこぼす」

投稿者は、小学生の娘を持つ母親の「ゆんゆゆ」さん。脱プラの取り組みの一環として、娘の学校では今年度からストローレス牛乳パックになりました。ところが、慣れない飲み方に娘

は牛乳をこぼしてしまったそうです。

「牛乳パックって注ぎやすく考えられた設計なので、そりゃ直に飲んだらこぼれやすいでしょ」と娘をかばうトピ主さん。さらに、「牛乳が気管に入りやすく、むせる原因にもなって危ないとも感じます。お行儀も悪くみえます」と指摘し、紙ストローに替えるなど学校側は考え直してほしいと訴えます。

トピ主さんと同じように、子どもを持つ親からはストローレス牛乳に戸惑う声がいっつか寄せられました。

「うちの子も去年あたりから、そうです。『慣れた？』って聞いたら『あんまり』って。『たまにこぼす』って言ってました」（「risa」さん）

「中学生のうちの子どものも、給食で牛乳飲むときに何度かブフォっとなり、新しい制服を汚してきたものでした」（「つるやん」さん）

「ちょっと気になるから子どもたちが帰ってきたら聞いてみようと思います。どうやって飲んでいるのか。息子はたぶんパックから直接飲んでいるだろうけど、娘はどうかかな……」（「にじのはは」さん）

環境に配慮した脱プラスチックの流れを受け、東京都教育庁は2023年度から、給食用牛乳の業者選定において、入札参加の条件に「容器やストローにおけるプラスチック削減を始めとした環境配慮の取り組みを積極的に実施しているもの」との項目を追加しました。

都地域教育支援部によると、牛乳の納入状況を把握している都内50市区町村のうち、

2024年度にバイオマス素材を配合したストローを利用している自治体が22市区町村、ストローレス牛乳パックを導入している自治体は28市区町村に上ります。

江崎グリコや雪印メグミルクもストローレスに

ストローレス牛乳パックは製紙会社が開発に力を入れており、2022年度に江崎グリコ（大阪市）が、2023年度には雪印メグミルク（東京）が採用したのをはじめ、乳業メーカー各社が相次いで導入しています。環境問題を考える上でも教育的効果があるとして、学校給食にも急速に広がっています。

ストローレス牛乳の急拡大について、数十年前に小中学生だった人たちからは「今って、そうなの？」と、昨今の給食事情に驚くコメントも寄せられています。「牛乳パックをそのまま飲む方法がわかりません」「お行儀が悪いと思います」などと、直飲みに対する抵抗感も根強いようです。

「私の時代は牛乳ビンでしたが、直接口を付けて飲むと、先生に『そんな下品な飲み方をしてはいけません。コップに移すかストローを使いなさい』と注意されたものです」と言うのは「60代半ば」さん。「特に（差別するつもりはありませんが）、女性がそんな飲み方をしていたらはしたないし、どういう環境で育ったのかしら？なんて思ってしまうかもしれません」と率直な感想をつづりました。

「紙コップでも持って行って、それで飲んだらいいのでは……」と対策を提案した「ん？」さん。「ペットボトルなどに直接口を付けて飲むのは、実際あまり行儀がいいことではないので、コップに開けて飲む習慣をつけるのはいいことだと思う」と書き込み、直飲みは受け付けない様子です。

「そんなところまでプラスチック取り上げるんですか！？」と驚いた様子で切り出したのは「あひる」さん。プラスチックストローの代わりに使われる紙ストローにも抵抗感があるそうです。「紙ストロー使うくらいなら、直飲みするかコップ持参しますね。それか残す。牛や酪農家さんには申し訳ないですが」と揺れ動く心境をつづり、給食牛乳のストローレス化にショックを隠せません。

地球の環境を守ることはお子さんのため

一方、環境への配慮を重視する観点から、ストローレス牛乳を支持する意見も少なくありません。「頑張って」さんは「そりゃ、全国の給食で毎日、何百万本もストロー使われているなら、使わない方がいいに違いない」と強調。「地球の環境を守ることはお子さんのためでもあります。小さなことから協力すればいいと思います」とトピ主さんに理解を求め、飲み方についても「家でも練習されてみては？」と助言しました。

「私たちの世代からすると『何を訳の分からないこと言っているの』って感じでしたが、職場でもやはり年配の方は『直飲みをはしたない』ととらえていて、なるほどと思いました」。直飲みに対する考え方に世代間ギャップがあると「にこ」さんは指摘します。

「今は、水筒もみんな直飲みですね。ペットボトル飲料をペットボトルで飲む人の方が大多数になりました。今の子どもやママ世代にとっては、牛乳パックの直飲みもさほど抵抗のあるものではないです」と説明。ストローレス牛乳のマナーやリスクを懸念するトピ主さんに、「良くも悪くもですが、時代は変わっていくので、柔軟に対応されては」とやんわりとアドバイスしました。（読売新聞メディア局 鈴木幸大）

(令和7年2月10日(月)読売新聞オンラインより一部抜粋)